

夏の教育セミナー 講演者一覧

逆境に勝つ! 大学入試改革

2020年8月7日現在
敬称略

開催期間

2020年8月10日(月・祝)～16日(日)

学校や先生方のご自宅から、期間中ご都合の良い時間にオンラインで参加できるWEBセミナー形式です。パソコン・タブレットから講演動画を視聴できます。

参加方法

「夏の教育セミナー」ウェブサイトより事前にお申し込みください。開催3日前までをめどに、登録のメールアドレスに個別ID・パスワードをお送りいたします。(直前のお申し込みの場合は、申込完了メールで設定方法をご案内予定です。)

1. 大学入学共通テスト

文科省担当者による大学入学共通テストの総論・最新情報の解説と、高校の先生による共通テスト解説(英・数・国)



前田 幸宣

文部科学省 高等教育局
大学振興課 大学入試室長

総論

大学入学共通テストの最新情報の講演に加え、なんと今年は先生方から寄せられた質問にもご回答いただきました!



文部科学省



山本 崇雄

新渡戸文化小中学校・高等学校 教諭

新渡戸文化小中学校・高等学校英語科教諭、横浜創英中学校・高等学校教育アドバイザーの他、日本パブリックリレーションズ研究所主任研究員、アルクテラスClearコミュニティデザイナー、ゲイトCSR教育デザイナーなど複数の企業でも活動。東京都立中高一貫教育校を経て2019年度より現職。2017年に新しい教育のあり方を提案するプロジェクト「未来

教育デザインConfeito」を設立。検定教科書『NEW CROWN ENGLISH SERIES』(三省堂)の編集委員を務めるほか、著書に「なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか」(日経BP社)、「「教えない授業」の始め方」(アルク)、「学校に頼らなければ学力は伸びる」(産業能率大学出版部)ほか、監修書に「21マスで基礎が身につく英語ドリルタテ×ヨコ」シリーズ(アルク)がある。

英語



安河内 哲也

東進ハイスクール・東進衛星予備校 講師

中学生から社会人までの英語力を劇的に向上させることで定評がある。著作の累計は350万部超。各種教育機関や、試験機関において、講演や監修等の業務を行っている。また、文部科学省や東京都の英語教育関連審議会の委員も歴任。TOEIC試験4技能(LRSW合計)1390点満点。

message

英語は共通テストになり、もっとも大きく出題傾向や配点が変わる科目です。この講演ではその主な変更点と、変更の意図に関して説明します。また、それに伴って、生徒達に求められる力は何なのか、それをどのようにして身につければ良いのかについて話します。

英語



鶴迫 貴司

東山中学校・高等学校 教諭

1977年生まれ。一昨年より「夏の教育セミナー」に登壇し、日本教育新聞社発行の記事には、新テストへ向けた内容を具体的に紹介するなど、他府県でのセミナーも行っている。著書には月刊誌『現代数学(現代数学社)』の連載をはじめ、「受験数学Journal(知恵の館文庫)」「もしこの問題に出会わなかったとしたら? (現代数学社)」などがある。新テストへ繋

がる題材や2次試験を見据えた内容を採り上げ、それらを考究できる素地を提供するなど各界から好評を得ている。

数学



河口 竜行

渋谷教育学園渋谷中学高等学校 教諭

私立桐蔭学園教諭、個人指導塾「河口塾」主宰を経て、現任校には開校3年目の98年から加わり現在に至る。キャリア教育について学ぶ中で出会ったコーチングの考え方・手法を、学校での各種の活動や毎日の授業に活用している。日常の進路担当・担任・学年主任としての役割の他に、学校外での活動も増えている。ALおよびコーチング関連の教員対象セミナーや、学校単位の教員研修、企業での社員研修などの講師として活動中。また、週に半日、産業能率大学経営学部でAL型授業を担当。その他、個人対象のパーソナルコーチとしても活動している。

国語

2. 大学のアドミッション・ポリシー、 入試情報

全国の大学の入試担当者による
アドミッション・ポリシーや入試方針の解説



国立

東京大学

福田 裕穂

理事・副学長

1977年東京大学理学部生物学科卒業、1982年東京大学理学系研究科植物学専門課程博士課程修了（理学博士）。1995年10月東京大学理学部・理学系研究科教授に就任。2013年4月～2015年3月まで東京大学副学長、2015年4月～2017年3月まで理学系研究科長・理学部長。2017年4月から現職。専門分野は植物生理学、植物細胞生物学。



国立



国立

京都大学

木南 敦

理事補（教育担当理事）・
高大接続・入試センター
副センター長



国立



国立

名古屋大学

佐久間 淳一

副総長

昭和38年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了、博士課程単位修得退学。専門は言語学。平成20年より名古屋大学教授。現職は、名古屋大学 副総長（入試・学生支援・人社系改革・図書館担当）、文学部・人文学研究科教授。



国立



国立

大阪大学

豊田 岐聡

副学長



国立



国立

九州大学

丸野 俊一

理事・副学長

昭和47年鹿児島大学教育学部卒業。九州大学大学院教育学研究科修士課程修了、博士課程中退。教育学博士。平成6年から九州大学教授。大学院人間環境学研究院長、附属図書館長、理事・副学長、基幹教育院長などを歴任し、平成26年10月より理事・副学長。



国立



国立

東京工業大学

武田 行生

入試実施部門長

山中 一郎

アドミッション部門長



国立



国立

一橋大学

三隅 隆司

学長補佐

1990年に一橋大学大学院商学研究科博士後期課程を単位取得退学し、一橋大学商学部専任講師・助教授を経て、2004年より現職にある。その間、1998年から1999年にかけて、ミシガン大学ビジネススクールにおいて在外研究を行った。最近の研究上の関心は、行動経済学の観点から、金融システムの機能および制度設計を考察することにある。より具体的には、(1) 株式市場のアノマリー、(2) 銀行・企業間の金融契約、(3) 金融規制、が有する合理性・非合理性を、経済主体の行動バイアスとの関連において理論的・実証的に考察することに関心を有している。



国立



国立

埼玉大学

柳澤 哲哉

理事（教学・学生担当）・副学長

【学歴】東北大学文学部 1981年卒業、東北大学大学院経済学研究科博士課程前期 1986年修了、東北大学大学院経済学研究科博士課程後期 1991年単位取得満期退学

【取得学位】経済学修士

【主な経歴】東北大学経済学部助手（1991-1993）、香川大学経済学部講師（1993-1994）、香川大学経済学部助教授（1994-2002）、埼玉大学経済学部助教授（2002-2004）、国立大学法人埼玉大学経済学部助教授（2004-2006）、国立大学法人埼玉大学 経済学部 教授（2006-2015）、国立大学法人埼玉大学教育研究評議会 評議員（2012-2016）、国立大学法人埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授（2015-）、国立大学法人埼玉大学経済学部長（2016-2020）、国立大学法人埼玉大学理事（教育・学生担当）・副学長（2020-）





横浜国立大学

国立

根上 生也

理事（教育・広報担当）・副学長

1957年生まれ。東京工業大学助手、横浜国立大学教育部助教授等を歴任し、現在は横浜国立大学大学院環境情報研究院長・学府長を務める。日本における位相幾何学のグラフ理論のバイオニアとして世界的に認知される著名な数学者である一方、日本の数学教育にも貢献。近年では現行の学習指導要領で新設された「数学活用」の教科書を編纂し、教育界に大きなインパクトを与えた。



金沢大学

国立

青木 健一

理事（教育・高大接続担当）

京都大学理学部卒業。京都大学大学院理学研究科博士課程研究指導認定退学。理学博士。平成4年に金沢大学に助教授として就任し、平成13年金沢大学教授。その後、総合メディア基盤センター長、大学院自然科学研究科長、理工研究域長、理工学域長を経て、令和2年より国立大学法人金沢大学理事（教育・高大接続担当）／副学長。



神戸大学

国立

岡田 章宏

理事・副学長（教育・入試）

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科教授、同研究科長、国際人間科学部長等を経て、平成31年4月より神戸大学理事・副学長（教育・入試担当）。専門分野は基礎法学。



広島大学

国立

宮谷 真人

理事・副学長（教育担当）

H10.1 博士（心理学）（広島大学）
H15.4 広島大学大学院教育学 研究科教授
H25.4 広島大学大学院教育学 研究科長・教育学部長（併任 H28.3まで）
H28.4 広島大学理事・副学長（教育・東千田担当）
H31.4 広島大学理事・副学長（教育担当）



早稲田大学

私立

小森 宏美

入試開発オフィス長

早稲田大学教育・総合科学学術院・教授。早稲田大学第一文学部卒業。同大学院文学研究科博士課程満期退学。在スウェーデン日本大使館、国立民族学博物館、京都大学などを経て2011年より現職。専門はエストニア近現代史、バルト地域研究。主要な著作として『エストニアの政治と歴史認識』（2009年、三元社）、『バスポート学』（2016年、北海道大学出版会、共編著）、『エストニアを知るための59章』（2012年、明石書店）などがある。



慶應義塾大学

私立

大石 裕

常任理事

1956年生まれ。1979年慶應義塾大学法学部政治学科卒業、1982年大学院法学研究科修士課程修了、1985年同博士課程単位取得退学。財団法人電気通信政策総合研究所研究員、関西大学社会学部助教授などを経て、1995年慶應義塾大学法学部助教授、1997年同教授。2007年メディア・コミュニケーション研究所長、2011年法学部長・法学研究科委員長。2017年慶應義塾常任理事。専門はマス・コミュニケーション論、政治社会学。博士（法学）。



関西学院大学

私立

永野 誠

高大接続センター 入試課長



関西大学

私立

高増 明

副学長

（入試、学生支援担当／社会学部教授）

【職歴】

1985年4月 大阪産業大学専任講師（経済学部）
1991年10月 大阪産業大学助教授（経済学部）
1997年4月 大阪産業大学教授（経済学部）
2006年4月～現在 関西大学教授（社会学部）
2016年10月～現在 関西大学副学長



同志社大学

私立

多久和 英樹

入学センター 所長

2004年1月 京都大学博士（情報学）
2014年4月 同志社大学理工学部
機械システム工学科教授
2016年4月 同志社大学入学センター所長



立命館大学

私立

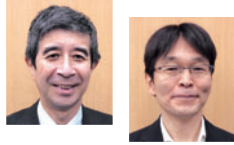
富田 耕平

入試広報課 課長



上智大学
藤村 正之
高大連携担当 副学長
網倉 久永
入学センター長

私立



【藤村 正之先生プロフィール】

一橋大学社会学部卒業、筑波大学大学院社会科学研究科修了(博士(社会学))。2002年上智大学文学部教授、2005年総合人間科学部教授、2008年学事センター長、2014年より学務担当副学長、2017年より現職。専門分野は、福祉社会学、文化社会学、社会学方法論など。各種の生活変動や生活問題、青年から高齢者の世代やライフコースの問題、それらへの社会的対応としての社会政策や福祉国家の問題を研究している。

【網倉 久永先生プロフィール】

一橋大学商学部卒業、一橋大学大学院商学研究科修了(修士(商学))。1997年上智大学経済学部助教授、2000年同教授、2017年入学センター長補佐、2018年より現職。専門分野は、経営戦略論・技術経営論。日本企業を主な対象として、企業固有の独自能力の形成・蓄積プロセス、組織能力が競争優位に及ぼす影響について研究している。



東京理科大学
井手本 康
副学長(入試・教育担当)
東京理科大学理工学部先端化学科教授
副学長(入試・教育担当)
博士(工学)

私立



明治大学
小野島 真
副学長 入試担当(入試制度)

私立



1990年明治大学商学部卒業、2000年明治大学大学院博士後期課程修了。04年政治経済学部助教授、10年同教授。副教務部長など歴任。博士(経済学)。(財政学)



青山学院大学
(大学動画のご紹介)

私立



立教大学
和田 務
入学センター 担当課長

私立



法政大学
菊池 克仁
入学センター長

私立

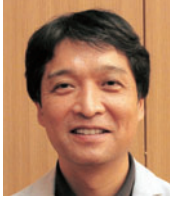


中央大学
磯崎 初仁
入試担当副学長・入学センター所長

私立

3. 授業実践

高校の先生による共通テストに向けた授業実践例（英・数・国）



山本 崇雄

新渡戸文化小中学校・高等学校 教諭

新渡戸文化小中学校・高等学校英語科教諭、横浜創英中学校・高等学校教育アドバイザーの他、日本パブリックリレーションズ研究所主任研究員、アルクテラスClearコミュニティデザイナー、ゲイトCSR教育デザイナーなど複数の企業でも活動。東京都立中高一貫教育校を経て2019年度より現職。2017年に新しい教育のあり方を提案するプロジェクト「未来教育デザインConfeito」

を設立。検定教科書『NEW CROWN ENGLISH SERIES』（三省堂）の編集委員を務めるほか、著書に『なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか』（日経BP社）、『「教えない授業」の始め方』（アルク）、『学校に頼らなければ学力は伸びる』（産業能率大学出版部）ほか、監修書に『21マスで基礎が身につく英語ドリルタメヨコ』シリーズ（アルク）がある。

message 共通テストの英語は、知識偏重型から情報処理力重視型へ大きく変わります。出題は実際の使用場面を意識したものがほとんどです。また、プレゼンテーションやディベートの準備をしていることも想定した出題などは、授業改善へのメッセージとも受け取れます。授業と入試をつなぐ工夫をみなさんと共有したいと思っています。

英語



安河内 哲也

東進ハイスクール・東進衛星予備校 講師

中学生から社会人までの英語力を劇的に向上させることで定評がある。著作の累計は350万部超。各種教育機関や、試験機関において、講演や監修等の業務を行っている。また、文部科学省や東京都の英語教育関連審議会の委員も歴任。TOEIC試験4技能（LRSW合計）1390点満点。

message 共通テスト英語科目の大きなポイントは、リスニングの指導です。私自身、若い頃にリスニングで苦労した経験があります。その経験から、ただたくさん聞いたり、問題をたくさん解いたりするだけでは、英語は聞こえるようにならないと考えています。この講義では、いかにして私自身が、リスニングを教えるべきと考えているのかについて、実際に授業をしながら発表したいと思います。また、今、私たちが直面しているのは、教室での対面指導と同様に、いかにしてオンラインで英語を教えるかという課題です。今後、第二波が到来した場合、学校教育・民間教育はまたもやオンラインが中心になる可能性があります。私自身も、この数ヶ月、高校や大学での同期型の講演・講義を自宅からオンラインで行う経験を重ねました。東進では、20年以上非同期型のオンライン講義を行ってきました。その経験則から、効果的なオンライン指導のポイントについてもお話したいと思います。

英語



鶴迫 貴司

東山中学校・高等学校 教諭

1977年生まれ。一昨年より「夏の教育セミナー」に登壇し、日本教育新聞社発行の記事には、新テストへ向けた内容を具体的に紹介するなど、他府県でのセミナーも行っている。著書には月刊誌『現代数学（現代数学社）』の連載をはじめ、『受験数学Journal（知恵の館文庫）』『もしこの問題に出会わなかったとしたら？（現代数学社）』などがある。新テストへ繋がる題材や2次試験を見据えた内容を採り上げ、それらを考究できる素地を提供するなど各界から好評を得ている。

がる題材や2次試験を見据えた内容を採り上げ、それらを考究できる素地を提供するなど各界から好評を得ている。

message これまでに公表された共通テストに関わるモデル問題や試行調査をもとに、出題の仕方・テーマ性・特徴などを確認して整理したことを、はじめに話をさせていただきます。そして、一教員の実践例として、教科書を通してその方向性と数学的な内容を具現化するのと同時に、普段の授業や指導で、生徒に還元していることやそのアプローチについて紹介したいと思います。

数学



河口 竜行

渋谷教育学園渋谷中学高等学校 教諭

私立桐蔭学園教諭、個人指導塾「河口塾」主宰を経て、現任校には開校3年目の98年から加わり現在に至る。キャリア教育について学ぶ中で出会ったコーチングの考え方・手法を、学校での各種の活動や毎日の授業に活用している。日常の進路担当・担任・学年主任としての役割の他に、学校外での活動も増えている。ALおよびコーチング関連の教員対象セミナーや、学校単位の教員研修、企業での社員研修などの講師として活動中。また、週に平日、産業能率大学経営学部でAL型授業を担当。その他、個人対象のパーソナルコーチとしても活動している。

message 共通テストの出題方針・試行テストの問題からは、共通テストに対応するために必要なのは、特別なスキル以前の、本文や設問に関する正確な理解であるということが伝わってきます。本実践例報告では、入試問題の解きかたや解説のしかたに特化することはず、三年間・六年間を通しての土台作りからお話しできればと思っています。

国語

夏の教育セミナー

summer-seminar.com

夏の教育セミナー

検索

主催：日本教育新聞社／株式会社ナガセ（東進ハイスクール・東進衛星予備校）

